

リスクの視点

基本情報に関する項目(310頁)、主治医意見書(312～313頁)、ICF 思考による情報整理・分析シート(316～317頁)を参考にしながら、以下の内容を考えてみましょう。

15-⑤-1 上原絹子さんは心疾患で治療を受けていますが、このままの生活を続けた場合、3か月後はどのような変化が考えられますか？

【個人ワーク】(5分)

【グループワーク】(10分)

【まとめ】(発表)

服薬管理の視点

エコマップ (311頁)、薬剤情報 (311頁)、アセスメントに関する項目 (チェックポイントシート) (314~315頁)、ICF 思考による情報整理・分析シート (316~317頁)、課題整理総括表 (318頁)、居宅サービス計画書(2) (320~321頁)、週間サービス計画表 (322頁) を参考にしながら、以下の内容を考えましょう。

15 - ⑤ - 2 在宅では、薬物療法を治療の基本としつつ、食事や生活習慣の改善も重要です。事例の上原絹子さんの服薬状況を把握するために必要なことはなんでしょうか。

【個人ワーク】 (5分)

【グループワーク】 (15分)

15 - ⑤ - 3 どのような工夫で、服薬管理ができると思いますか。

【個人ワーク】 (5分)

【グループワーク】 (15分)

【まとめ】 [発表]

食事制限がある人への支援の視点

引き続き、以下の内容を考えてみましょう。

15-⑤-4 上原絹子さんの生活習慣を考えるうえで、とくに、食事制限を行う必要があります。上原さんの食生活と体調の関係をどのように考えますか。

【個人ワーク】（5分）

【グループワーク】（20分）

15-⑤-5 好きなものを食べたいと考えている上原さんに、誰がどのように説明するのが有効だと思いますか。

【個人ワーク】（5分）

（例）たこ焼き、サイダー

（例）味付けの濃いもの

【グループワーク】（15分）

【まとめ】〔発表〕